

日本語教育の現状と課題

背景

- ① 日本の良き理解者を増やすとともに、日本の文化芸術水準の向上のために、日本文化を発信することが重要
- ② 人口減少社会にあつて高度人材をはじめとする外国人の受入れを拡大することが不可避
- ③ 日本語のできない定住外国人が増加し、地域社会で軋轢を生じている

現状

- 留学生(就学生)を除き、体系的な日本語学習機会が不十分
- 勤労者向けの日本語教育プログラムの開発が不十分
- 地域の日本語教育の専門家が不足
(ボランティアに過度の依存)
- 日本語教育と日本語教師養成の両方において知識偏重で実践力の養成が不足傾向

積極的な日本語教育推進が必要

検討課題

1. 対象*別の日本語教育の在り方

(ア)学習内容, 教育方法, 日本語能力試験

(イ)指導者養成プログラム, 日本語教育能力検定試験

※年少者, 配偶者, 駐在員, 留学生, 研究者, 労働者等

2. 定住外国人のための日本語教育特有の問題の明確化

3. 地域における日本語教育実施体制の改善

4. 日本語教育拠点の整備

5. 他の政策との連携の強化

(ア)入国管理, 多文化共生

(イ)外国人高度人材受け入れ促進施策

(ウ)初等中等教育

(エ)高等教育

(オ)観光